

歴史的建造物を守るために

# 文化財防火デー

問合せ／文化財課（☎58-5111・75-3111代表）

1月18日に真壁町真壁地区で、第72回文化財防火デーに伴う防火訓練及び防災対策講演会が実施されました。

「文化財防火デー」とは、昭和24年に法隆寺金堂壁画が焼損した1月26日を、全国的に文化財防火運動を展開し防火意識の高揚を図る日として国が定めたものです。

今年の防火訓練では、消火活動訓練に加え、真壁町真壁地区に設置されている住民一人でも操作が可能な「易操作性消火栓」を、実際に住民一人ひとりに操作していただく



実際に触れて操作方法を確認



講演会では、火災が起こりやすい場所などを分かりやすく説明

訓練が行われました。また、防災対策講演会では、市の委託により伝統的建造物群保存地区の防災対策に関する調査研究を担当されている、国土館大学の横内基教授から、身近な防災対策について研究報告を兼ねた講演があり、参加者は皆、熱心に耳を傾けていました。市では、今後も文化財保護のため、消防団や筑西広域消防本部と連携し、文化財防火運動を実施していきます。

判断と連携を試す

# 風水害対応訓練を実施

問合せ／防災課（☎58-5111・75-3111代表）

1月19日、桜川市役所で、風水害を想定した災害対策本部・災害警戒本部の運営訓練を実施しました。

近年、全国各地で豪雨災害が相次いでいることを踏まえ、本訓練では、実災害さながらの緊張感の中で、本部運営能力の向上を図ることを目的に、警戒段階から災害対応段階へ移行する過程における判断や情報共有のあり方を確認しました。

訓練は、事前に内容を知らせない「ブラインド型」の状況



警察署、消防署が同席で情報共有

また、今回は新たに災害警戒本部を含めた訓練とし、警戒段階からの情報集約や意思決定の流れについても確認しました。参加した職員からは「判断の難しさを実感した」「平時の備えや役割分担の重要性を改めて認識した」といった声が聞かれ、課題と成果を確認できる訓練となりました。

## 災害対応力を高めるために

- 1 警戒段階からの備え  
被害が出る前から、判断と準備ができるか。
- 2 情報をつなぐ力  
集めた情報を整理し、判断につなげられるか。
- 3 本部移行の連携  
警戒本部から災害対策本部へ円滑に移れるか。
- 4 人命最優先の判断  
迷った場面で、守る軸を共有できるか。

## ペット火葬は 北つくば農協葬祭のペットセレモニー

- 安心**  
ご家族が安心して  
お見送りできるよう
- 心頼**  
心から  
信頼いただき
- 真心**  
まごころ込めた  
おもてなし



完全  
個別火葬

供養堂見学  
事前相談受付  
無料

安心の  
見積提示

24時間365日  
電話受付  
— 営業時間 —  
8:30~17:30



ペットがなくなった!  
どうしたらいいの?

ご家族が安心してお見送りできるようお手伝いさせていただきます  
まずはお電話ください。丁寧に分かりやすくご説明いたします。

☎ 0120-456-556

お迎え対応地域 筑西市・結城市・桜川市  
その他の地域の方はご相談ください。